

令和3年度事業計画（4号議案）

【1】豊中市による「豊中駅周辺再整備構想」策定に関して

豊中市は本年9月末までに「豊中駅周辺再整備構想」を策定する計画を進めています。協議会では、住民の要望が十分に反映された、豊中駅前の将来に禍根を残さない構想となるよう、積極的に豊中市に働きかけていきます。市が開催する市民との意見交換会(ワークショップ)に地元の考えを明確に伝えるため、「再整備構想検討会」の開催を増やし、従来から培ってきた「安全で、安心してゆっくり歩き回れるまちづくり」の実現を目指します。また、まちの賑わいを取り戻すため商業者や企業、住民の方々とその方策を話し合い、市と協力して実施していきます。

また、“構想”は実行されなければ、まちは変わりません。協議会は市街地整備係をはじめ、都市整備課地区まちづくり係を窓口にして駅前改善や改良に関わる部署の皆さんと協働し、「豊中駅周辺再整備」を地元の意向に沿った形で進捗して行くよう、構想にはアクションプランを盛り込むよう提案します。また実施については市民と行政の橋渡しの役割をしっかりと果たしていきます。

1. 豊中市主催のワークショップについて

- ① 「再整備構想検討会」（協議会主催）の開催
- ② 市との事前協議
- ③ 再整備構想の基となる「市の基本方針」及び「豊中駅前まちづくり構想」の勉強会の開催

2. 策定された「再整備構想」について

- ① 市と実現化に向けての協議
- ② 「再整備構想」に沿った取り組み（試み）

【2】「ゆっくり楽しく歩き回れるまちづくり」に取り組みます

<豊中駅前の歩行者空間の考え方>>

- ①スクランブル交差点の改良
- ②銀座通りを歩行者が中心となる通りにする
- ③箕面街道の歩行者空間の安全性向上(歩道設置)

※現状、宮山幼稚園前から北へは歩道が設置されているが、手前は未設置

- ④国道 176 号との交差点部の改良及び駅への新道づくりの検討

1. 喫緊の課題であるスクランブル交差点の改善に関しては、大池小学校の生徒をはじめ、歩行者の安全通行の確保に向けて、大阪府に改良計画の確定及び実施に向けての事業の予定を早期に示すよう働きかけます。また豊中市には「再整備構想」を前提に大阪府とより積極的に協議するよう要望します。
2. けやき通り(ホテルアイボリー前の道)を、歩行者が安全に通行できるよう、沿道の皆さんとともに改善に取り組みます。

3. 自転車の安全走行を促します

- ①商店街の歩道では、自転車の押し歩きを推進します。
- ②自転車がルールに則り、車道の左側を安全に走行出来るよう働きかけます。
- ③自転車の交通ルール周知を各学校、幼稚園等に要請します。
- ④警察官による自転車運転者への指導を要請します。

【3】「みんなで育てるまちづくり」に取り組みます

1. まちの動きを速やかに察知し、まちの改善につなげます。

- ①まち中の変化などの情報を地域の方々から収集し、「まちづくりニュース」でお知らせします。
- ② 開発計画の収集に務め、事業者へ地域の安全・景観を守る配慮を求めます。
- ③ ホームページを開設し、まちづくりの情報や協議会の活動などを速やかに、詳細に地域に伝えます。また、みなさんの意見交換、情報交換の場として活用していきます

2. 広範な会員の獲得に務めます。

- ①商店街・各自治会との連携に努め協力関係を深めます。
- ②駅前的大型マンション住民との対話を通じ、まちづくりの共有化に努めます。
- ③各種の市民グループとの連携を深めます。

3. まちに花や緑を育てる「花のまちづくり」を継続します。

①こもれびガーデンをはじめ、各銀行前などの花壇に花と緑を絶やさないよう活動を継続します。

② 豊中市や緑化リーダー会、緑の交流会との連携で活動の活性化を図ります。